



2022年7月13日

各 位

会 社 名 株式会社トレジャー・ファクトリー  
代 表 者 名 代表取締役社長 野坂 英吾  
(コード番号 3093 東証プライム)  
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 小林 英治  
(TEL. 03-3880-8822)

## 2023年2月期第2四半期累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年4月13日に公表いたしました2023年2月期（2022年3月1日～2023年2月28日）の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 2023年2月期第2四半期累計期間 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	11,841	247	257	161	14.49
今回修正予想 (B)	12,430	625	650	426	38.33
増減額 (B-A)	589	378	393	265	-
増減率 (%)	5.0	153.0	152.9	164.6	-
(参考) 前期第2四半期実績 (2022年2月期第2四半期実績)	10,736	155	181	45	4.03

## 2. 2023年2月期通期 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,398	1,098	1,112	742	66.76
今回修正予想 (B)	26,038	1,400	1,430	886	79.72
増減額 (B-A)	640	302	318	144	-
増減率 (%)	2.5	27.5	28.6	19.4	-
(参考) 前期通期実績 (2022年2月期通期実績)	23,313	995	1,054	703	62.78

## 3. 修正の理由

第1四半期連結累計期間においては、連結売上が前年同期比118.8%となり、差引売上総利益率も1.2pt改善したことから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比200%以上と、計画を大きく超える進捗となりました。この結果、第2四半期累計期間の連結業績につきまして、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想を上回る見込みとなったため、前回発表数値から修正いたします。

また、下半期においては、従業員給与のベースアップや電気代の上昇などによる販管費の増加を約1億円新

たに見込んでおりますが、第1四半期の好調な業績を反映した結果、各利益が前回発表予想を上回る見込みとなったため、通期業績予想につきましても前回発表数値から修正いたします。

(注記) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性がございます。

以 上